

水道事業ローリングシート(個別事業点検表)

目指すべき方向性		持続	基本政策	6 経営基盤の強化		施策	6-2 組織能力の向上		事業	6-2-1 適正な組織・職員配置		担当課	上下水道総務課
総事業費 0千円			事前・中間評価										
計画額	令和元年度(予算額) 0千円	令和2年度(予算額) 0千円	令和3年度(予算額) 0千円	令和4年度(予算額) 0千円	令和5年度(予算額) 0千円	令和6年度(予算額) 0千円	令和7年度(予算額) 0千円	令和8年度 0千円	令和9年度 0千円	令和10年度 0千円			
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・全業務において、業務委託等の民間活力導入について研究します。 ・社会経済状況が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を平成29年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。	・社会経済状況が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を平成30年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。	・社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和元年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。	・社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和2年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。	・社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和3年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。	・社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和4年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。	・社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和5年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。	・社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和6年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。	・社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和7年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。	・社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和8年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。			
	総事業費 0千円	終了時評価											
決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円					
達成状況	・民間委託が可能な業務の点検を行ったが、委託可能な業務は無かった。 ・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員要望を行った。また、効率的な経営施策を実施するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行った。 ・時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを図りながら、効率的、機動的な事業運営を行った。4～3月までの職員の時間外勤務について、平成29年度と比較すると約0.01%削減となった。	・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員要望を行いました。また、効率的な経営施策を実施するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行いました。 ・時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを図りながら、効率的、機動的な事業運営を行いました。4～3月までの職員の時間外勤務について、平成30年度と比較すると約29.5%削減となりました。	・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営施策を実施するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行いました。 ・時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを図りながら、効率的、機動的な事業運営を行いました。令和3年度の職員の時間外勤務について、令和元年度と比較し、約26.1%削減となりました。	・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営施策を実施するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行いました。 ・時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを図りながら、効率的、機動的な事業運営を行いました。令和4年度の職員の時間外勤務について、令和2年度と比較し、約18.4%削減となりました。	・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営施策を実施するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行いました。 ・時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを図りながら、効率的、機動的な事業運営を行いました。令和5年度の職員の時間外勤務について、令和3年度と比較し、約0.9%削減となりました。	・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営施策を実施するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行いました。 ・時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを図りながら、効率的、機動的な事業運営を行いました。令和6年度の職員の時間外勤務について、令和4年度と比較し、約1.2%削減となりました。	・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営施策を実施するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行いました。 ・時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを図りながら、効率的、機動的な事業運営を行いました。令和7年度の職員の時間外勤務について、令和5年度と比較し、約5.3%削減となりました。						